

# 観光渋滞WG、施設渋滞WGの報告

---

# 1. 観光渋滞WG の取り組み

## 現況

- 松島地区は、日本三景の一つであり、年間約300万人の観光客が訪れる宮城県を代表する観光地。
- 観光地周辺は、国道45号が通過しており、交通量が多く、観光シーズンをはじめ交通渋滞が著しい。

## 課題

- 松島地区の交通渋滞により、観光地として景観のマイナス要因や緊急車両、公共交通機関の定時性確保などの課題が生じている。

## 令和4年度の取り組み

### <課題解決の方向性>

- 観光地「松島」として相応しい、道路空間の活用を見据えた**交通社会実験を実施**(令和4年10月)

- ① 国道45号の大型車両及び一般車両の流入抑制
- ② 一部車線規制による賑わい空間の創出

### <目指すべき姿>

日本三景松島の更なる魅力向上に向けた、  
安全安心な賑わいのある道路空間の構築

観光渋滞WGの  
対象地区として、  
**「松島地区」**を選定  
(令和2年度第2回渋滞協)



# 2-1. 令和4年度松島町交通社会実験の概要

10月28日から30日の3日間(10:00~15:00), 松島レストハウスから松島第一駐車場までの250m区間を全車両通行規制するとともに, 松島海岸駅交差点から松島レストハウスまでの450m区間を車両通行抑制を実施した。



# 2-2.令和4年度松島町交通社会実験の概要

社会実験中は国道45号の通過交通を周辺道路に迂回路を設定し通行させた。



**迂回路の方針**  
 ・混雑度の低い  
 「県道小牛田松島線」  
 「県道赤沼松島線」  
 「町道井戸尻放森線」等  
 を中心に迂回させる。

**〔石巻方面からの迂回〕**  
 <塩釜方面へ>  
 ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ  
 ② 小牛田松島線に左折  
 ③ 赤沼松島線に右折  
 ④ 井戸尻放森線に左折  
 ⑤ 国道45号に合流

<利府方面へ>  
 ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ

**〔塩釜方面からの迂回〕**  
 <石巻方面へ>  
 ① 国道45号「浜田交差点」から井戸尻放森線へ  
 ② 赤沼松島線に右折  
 ③ 小牛田松島線に左折  
 ④ 仙台松島線に右折  
 ⑤ 「愛宕交差点」から国道45号に合流

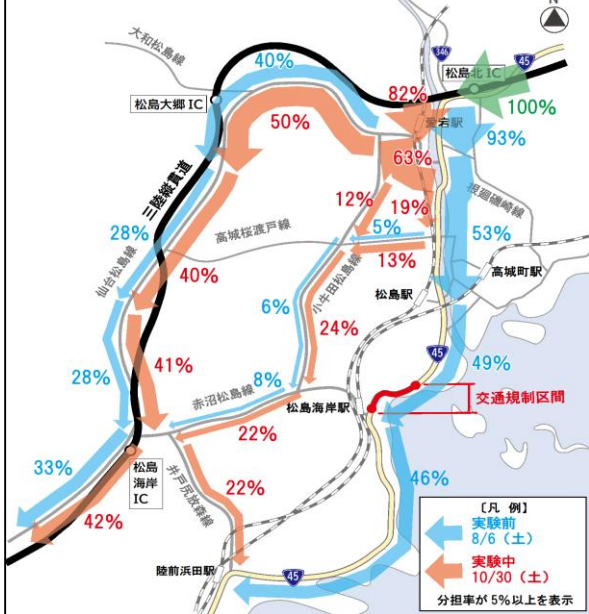


# 3-1 昨年度の迂回路状況について

## 〈交通規制による経路の変化〉

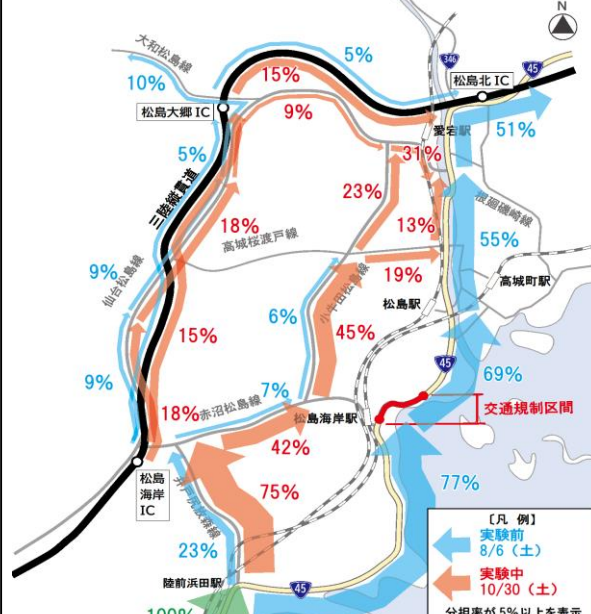
昨年度の社会実験結果から国道45号交通規制に伴う経路の変化について整理した。

図-1 経路の変化(国道45号上り(休日))



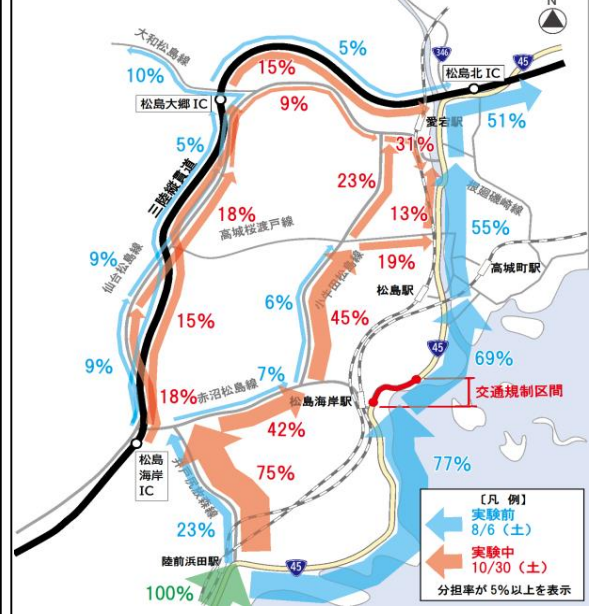
石巻側から利府方面へ通行する車両は約半分が仙台松島線を通行している。

図-2 経路の変化(国道45号下り(休日))



塩竈側から石巻方面へ通行する車両は約半分が小牛田松島線を通行し、石巻方面へ通過した。

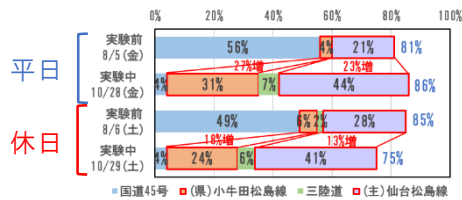
図-2 経路の変化(国道45号下り(休日))



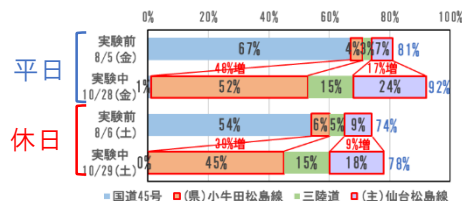
仙台松島線を利府方面から通る車両は、7割が仙台松島線を通行し、石巻方面へ通過した。

図-4 交通分担率の変化

〔国道45号上り〕  
 国道45号上り方向の交通は、平日で小牛田松島線に27%、仙台松島線に23%が転換した。



〔国道45号下り〕  
 国道45号下り方向の交通は、平日で小牛田松島線に48%、仙台松島線に17%が転換した。



## 結果について

- ・国道45号上り方向の交通は大部分が仙台松島線転換し、国道45号下り方向は井戸尻放森線から小牛田松島線を通過する経路へ転換した。
- ・仙台松島線下り方向の交通は、大きな経路変更はみられなかった。

← ※根拠交差点地点の交通量を100%とした場合の分担率

# 3-2. 昨年度の迂回路状況について

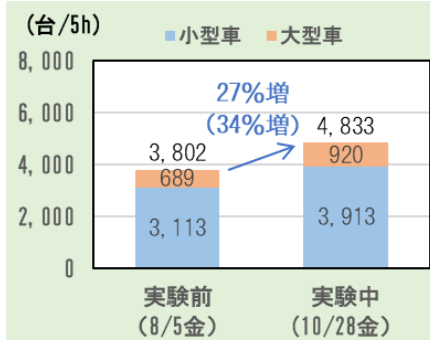
## 〈迂回路における交通量の変化〉

○昨年度の社会実験結果から迂回路における交通量の変化及び交差点における渋滞の変化について結果と課題を整理した。

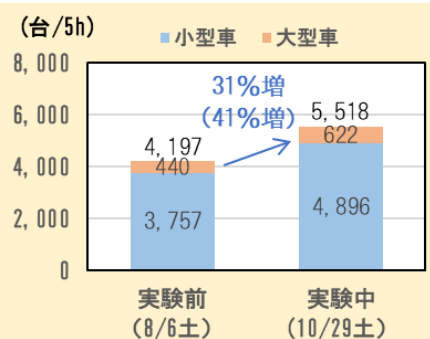
### ■主要地方道仙台松島線

○社会実験時は平休ともに交通量が約3割増加し、休日は100m前後の渋滞が断続的にみられたが、大きな渋滞は発生なし。

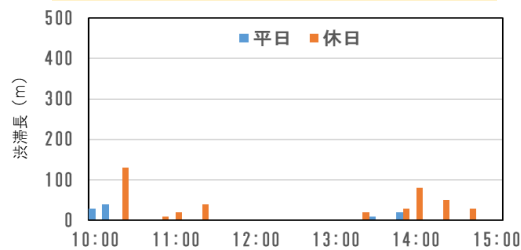
#### 平日交通量



#### 休日交通量



#### 渋滞長



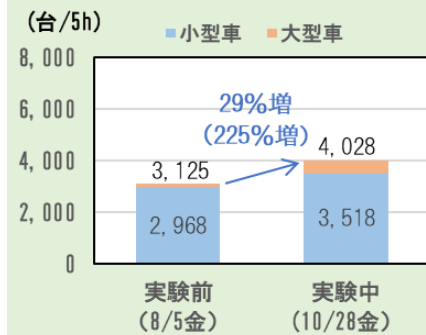
### 《位置図》



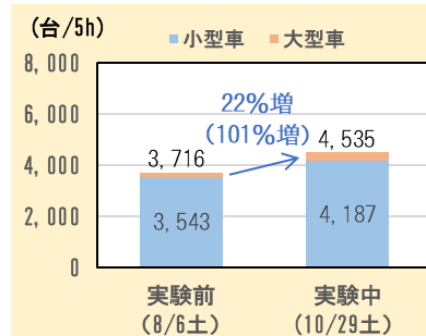
### ■一般県道赤沼松島線

○交通量は平日で29%、休日で22%増加したが、渋滞は発生しなかった。

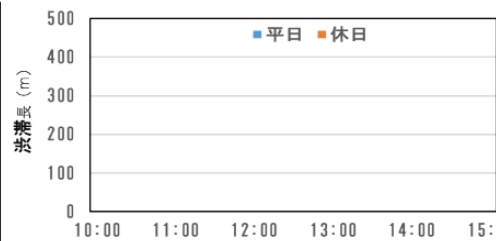
#### 平日交通量



#### 休日交通量



#### 渋滞長



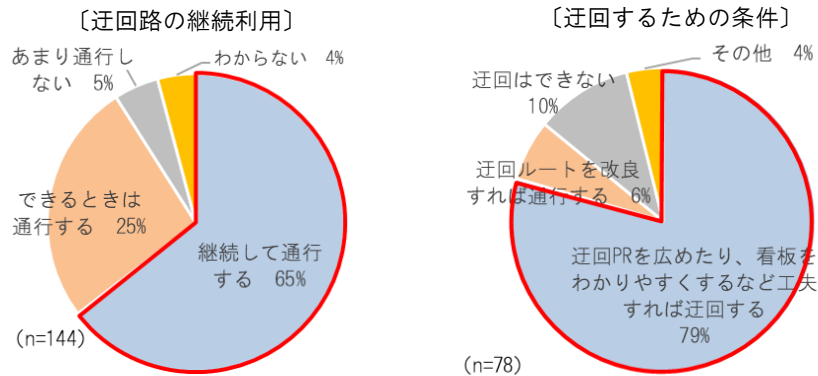


# 3-3. 昨年度の社会実験のアンケート結果

## ■ 迂回路の混雑状況【道路利用者、トラック協会】

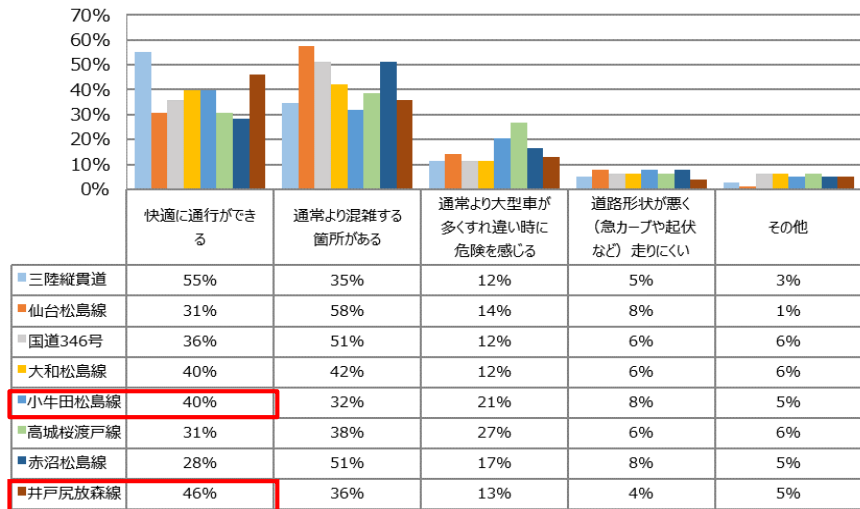
### 道路利用者

○ 迂回路を継続して通行するとの意見は約7割、迂回PR等を工夫すれば迂回するは約8割



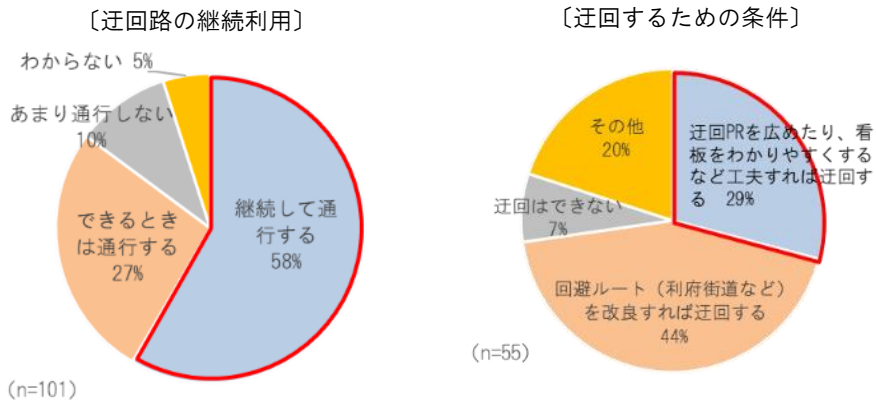
○ 社会実験時に小牛田松島線と井戸尻放森線を通行した約4割が快適に通行できていると感じている

〔道路利用者意見〕



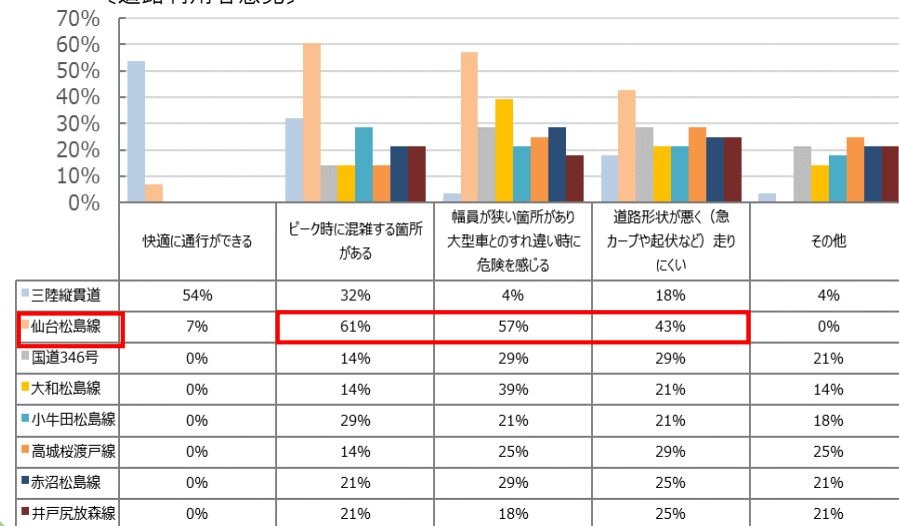
### トラック協会

○ 迂回路を継続して通行するとの意見は約6割、迂回PR等を工夫すれば迂回するは約3割



○ 国道45号と比べ、仙台松島線は急カーブや起伏などにより走りにくいが増加した

〔道路利用者意見〕

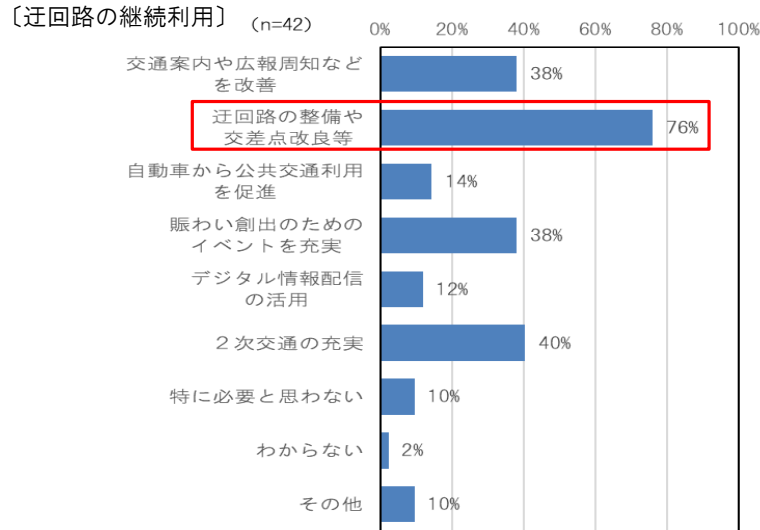




# 3-3. 昨年度の社会実験のアンケート結果

## ■ 周辺道路の混雑の改善方策【周辺住民】

○ 社会実験の改善方策として、迂回路の整備等を求める意見が多い



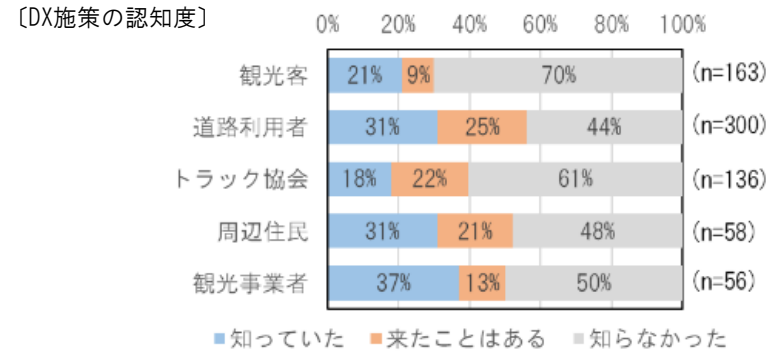
○ 迂回路は町道高城桜渡戸線が通常より混雑した

〔迂回した道路の交通状況〕



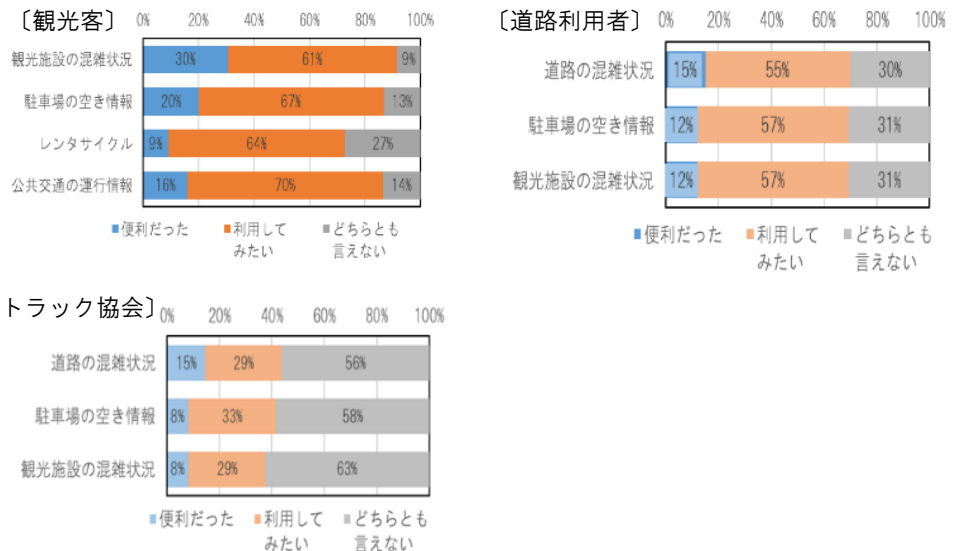
## ■ DX施策の認知状況【観光客、道路利用者、トラック協会、周辺住民、観光事業者】

○ DX施策の認知状況は、道路利用者と周辺住民と観光事業者は約半数であったが、観光客は30%、トラック協会は40%であった



## ■ DX施策への意見【観光客、道路利用者、トラック協会】

○ DX施策を実際に利用した人は少なかった、利用してみたいと応えた観光客と道路利用者は半数以上であった



# 4. 令和4年度松島町交通社会実験に対する課題及び対応方針について

項目	課題	対応方針
交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国道45号の愛宕交差点」で、実験開始直後の1時間程度の渋滞が発生</li> <li>・迂回路に指定していない道路へ車両が侵入し断続的な渋滞が発生</li> <li>・仙台松島道路への迂回車両の転換は進まなかった</li> </ul>	事前周知・広報の強化
観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業者へのイベント波及効果が限定的だった</li> <li>・イベントでの物販等、参画を求める声が多い</li> <li>・社会実験について、5割が肯定的な評価、否定的な意見は約2割</li> <li>・売上減が半数、売上増、変化なしが3割</li> <li>・シャトルバスの運行により、歩行者天国区間以外の沿道店舗への立ち寄りが減少</li> </ul>	地域の観光事業者の理解促進と連携の強化
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が「歩行者天国」付近に集中し、周辺店舗等への回遊が減少した</li> <li>・お年寄りや体の不自由な方々の移動手段が必要</li> <li>・社会実験の事前認知割合は5割弱</li> <li>・県外からのツアー観光への周知が十分ではなかった</li> <li>・イベントの内容充実を望む意見</li> </ul>	観光2次交通の最適化・多様化
道路利用者 (トラック事業者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要迂回路の「県道仙台松島線」の、幅員狭小や急カーブ等の解消を指摘する意見が多い →迂回道路の機能強化に向けた道路改良等の検討を進める</li> </ul>	

# 5. 前回の社会実験を踏まえた取組みについて

## 事前周知・広報の強化

- 4月に社会実験の実施について公表
- 県内外の観光業界へ周知
- 交通規制の内容の周知強化

## 地域の観光事業者の理解促進と連携の強化

- 地域の観光事業者等との意見交換会を開催し、社会実験への理解を深め、地域と連携した、地域一体となったイベントの在り方を検討

## 観光2次交通の最適化・多様化

- シャトルバスの運行ルートの見直し
- グリーンスローモビリティの運行
- AI・Iotと連動した2次交通の効果的・効率的な運行

松島町交通社会実験  
～松島の風景が変わる～  
2023年 10/14(土) 10/15(日) 10:00-15:00 通行規制  
●通行規制の区間  
●ご協力のお願  
●車道空間の活用





# 6-1. 令和5年度松島町交通社会実験の概要

10月14日から15日の2日間(10:00~15:00)に令和4年度と同様、松島レストハウスから松島第一駐車場までの250m区間を全車両通行規制するとともに、松島海岸駅交差点から松島レストハウスまでの450m区間を車両通行抑制を実施する。





# 6-2. 令和5年度松島町交通社会実験の迂回路(案)

社会実験中は国道45号の通過交通を周辺道路に迂回路を設定し通行させ、前回の社会実験の課題を踏まえ主要箇所には、交通誘導員、案内看板を設置し交通規制内容の周知を強化する。



**迂回路の方針**

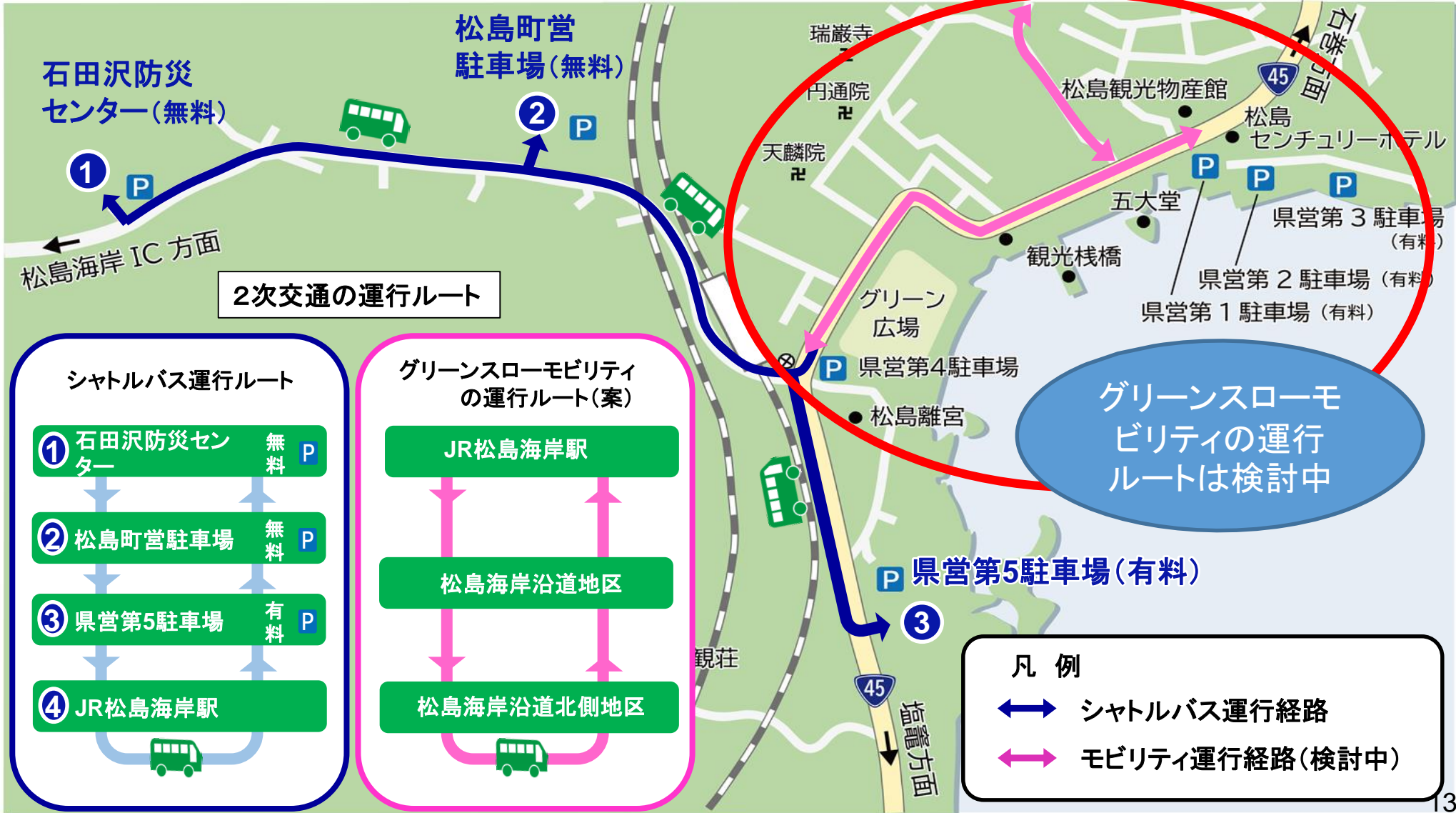
- ・混雑度の低い
- 「県道小牛田松島線」
- 「県道赤沼松島線」
- 「町道井戸尻放森線」等

を中心に迂回させる。

- 〔石巻方面からの迂回〕**
- ＜塩釜方面へ＞
- ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ
  - ② 小牛田松島線に左折
  - ③ 赤沼松島線に右折
  - ④ 井戸尻放森線に左折
  - ⑤ 国道45号に合流
- ＜利府方面へ＞
- ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ
- 〔塩釜方面からの迂回〕**
- ＜石巻方面へ＞
- ① 国道45号「浜田交差点」から井戸尻放森線へ
  - ② 赤沼松島線に右折
  - ③ 小牛田松島線に左折
  - ④ 仙台松島線に右折
  - ⑤ 「愛宕交差点」から国道45号に合流

# 7. 観光2次交通の最適化・多様化(案) ~グリーンスローモビリティの活用~

最寄り駐車場からのシャトルバス運行のほか、車両抑制・規制区間の沿道地区及び沿道北側の地区において、グリーンスローモビリティを活用し移動手段の充実化による観光促進を促す。



# 8. AI・ICT技術を活用した駐車場案内への取り組み

## AI・ICT技術を活用した駐車場案内への取り組み

デジタルマップ(ミヤギタビマップ)とAIカメラ及びサイコロセンサーを連携させたAIシステムにより観光客がいつでも道路の渋滞及び駐車場の混雑状況を確認できるようにする。

【道路】

AIカメラ

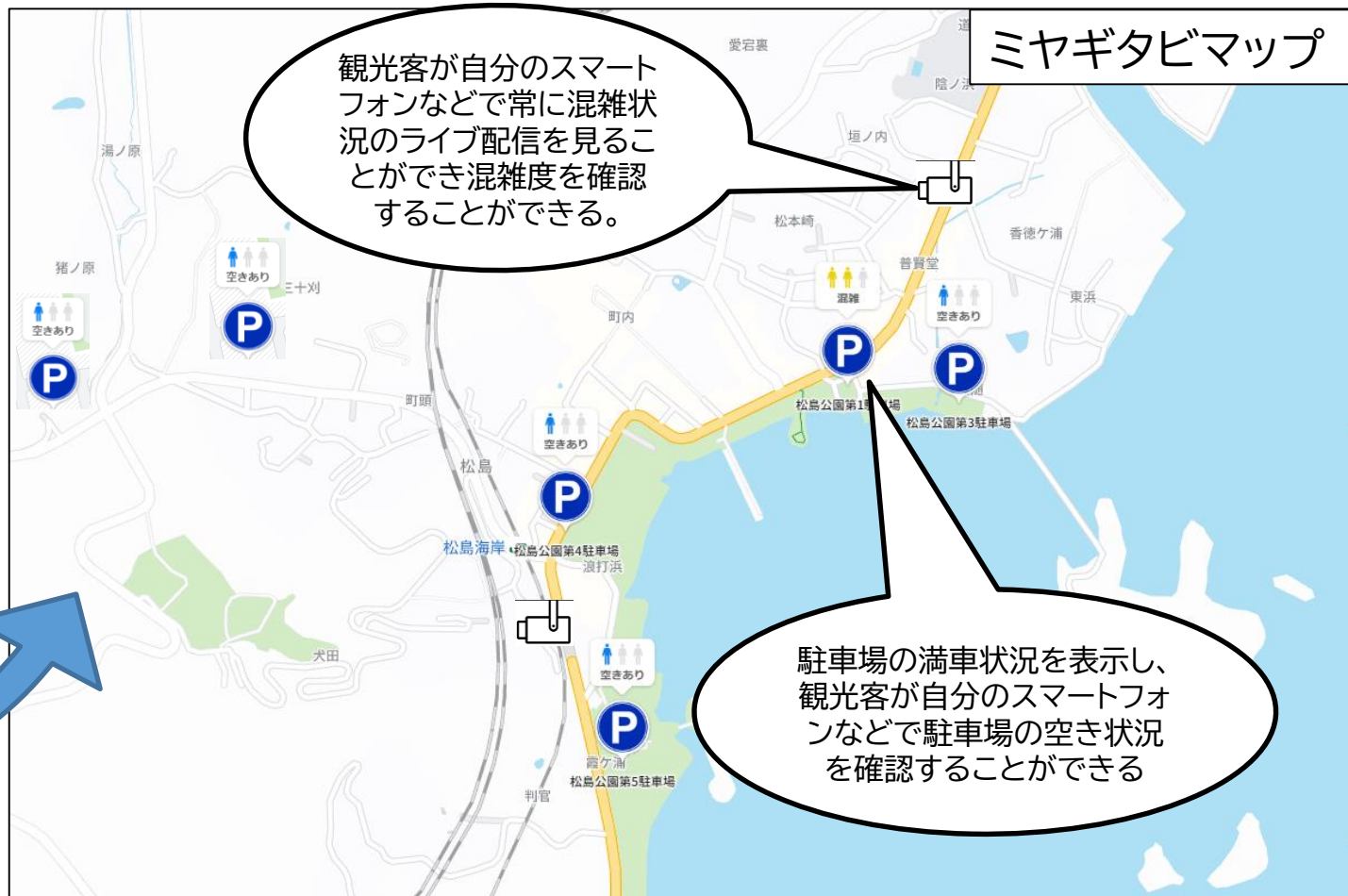


【駐車場】  
(期間限定)

サイコロセンサー



システム  
連携



# 9. 施設渋滞WG・イベント渋滞WG の取り組み

## 現況

- 利府地区周辺の(主)仙台松島線では、交通混雑が著しいことに加え、令和3年3月には、東北最大規模の大規模商業施設が開業。
- 利府地区には、宮城県総合運動公園が立地し、イベント時などには交通混雑が顕在。

## 課題

- 当該施設付近の(主)仙台松島線は「主要渋滞箇所」の存在や「混雑度」の高い区間があるため交通量が増加し、速度低下区間や速度低下時間帯が拡大。

施設渋滞WG及びイベント渋滞WGの対象地区として、  
**「利府地区」**を選定  
(令和2年度第2回渋滞協)

## 今後の取り組み方針

- これまで利府地区WGでは大規模商業施設周辺の混雑改善に向けた調査・検討を実施。
- 利府町では新たな「道路整備計画」策定に向けて、交通量調査や整備の優先度などを検討するため、今後はWGで交通状況の分析や課題の共有、課題解決に向けた対策案について検討を行う。



# 10. 昨年度の取り組み及び結果

## 昨年度の取り組み

### 【施設渋滞WGメンバーの取り組み内容】

- (主)仙台松島線をはじめとする利府町中心部の主要交差点において、渋滞の発生状況を把握するため、施設渋滞WG構成機関で連携し、各種交通量調査を実施。
- 最新の平日及び休日の交通状況や渋滞の発生状況を整理し交通課題の分析を実施。

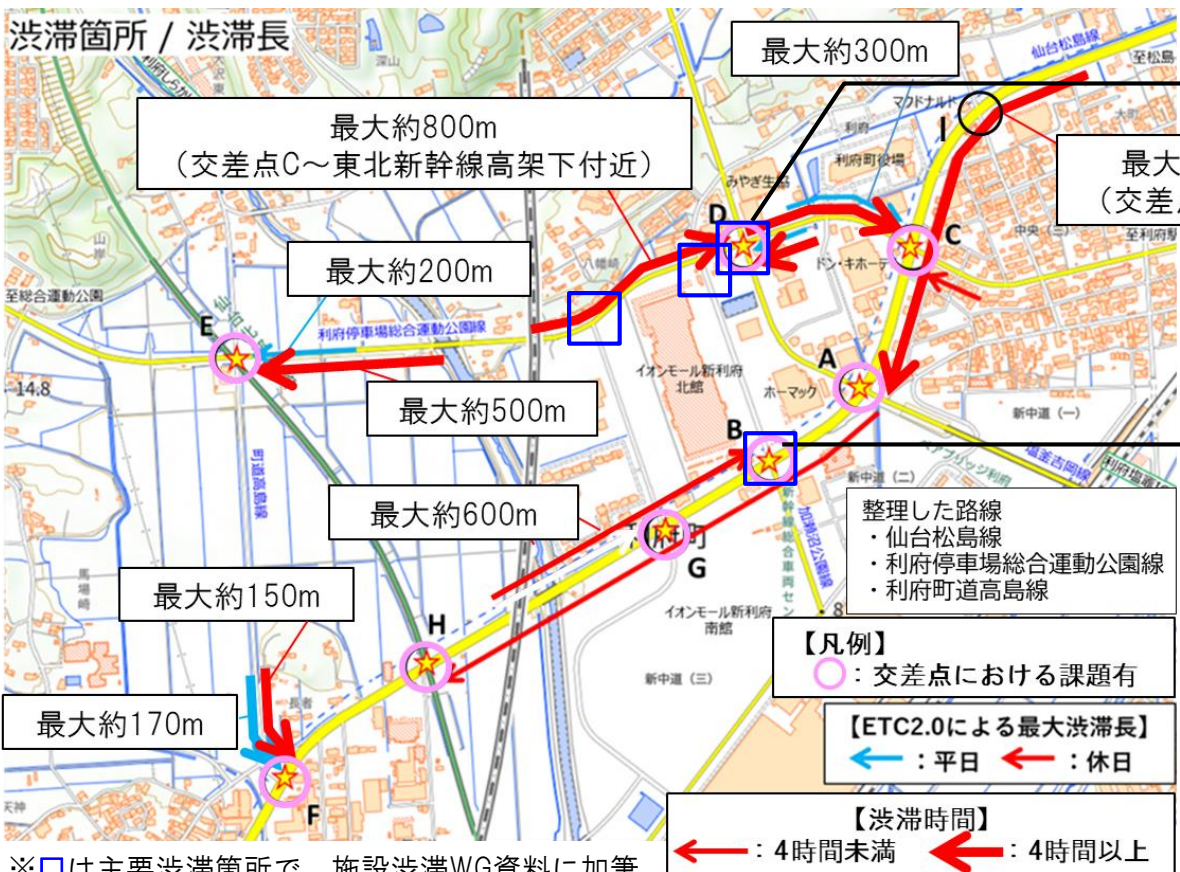
### 【宮城県の調査内容】

- 利府町中心地区(大規模商業施設周辺)において、宮城県と利府町で役割分担し、(宮城県8箇所、利府町9箇所)で方向別交通量調査を実施。
- 宮城県では、県道に関わる7か所で交差点解析を実施し、渋滞要因(需要率、交通容量比、滞留長)を分析。
- 利府町中心地区(大規模商業施設周辺)において、ETC2.0プローブデータ及び貨物車プローブデータ分析により速度低下箇所を抽出し、渋滞箇所・渋滞時間、渋滞長を把握。

# 11. 昨年度の取り組み及び結果

## 調査結果

- ◆ 1つの交差点の渋滞が近接する複数の交差点まで及んでいる。
- ◆ 解析を実施した7か所（A～G）すべての交差点で、滞留長の不足への対応及び交差点前後の渋滞解消が課題と判明。
- ◆ 交差点Gの渋滞要因として、左折滞留長の不足や左右折滞留長の不足が確認された他、交差点先の大規模集客施設駐車場の出入交通の影響も考えられる。



# 12. 昨年度の取り組み及び結果

## 昨年度の施設渋滞WGメンバーからの主な意見

- 特定の交差点の対策を実施した場合、他の交差点の負荷が増大する可能性がある。
- 交差点単独の対策ではなく、面的な対策の検討が必要であり、町と連携して進める必要がある。
- 商業施設等への経路誘導等を含め、地区全体での対策検討が必要。
- 渋滞対策の検討については、大規模集客施設への働きかけを行っていくが、その時期については要検討。

## 追加で検討が必要と考えられる事項

- ①大規模集客施設に面した町道の渋滞状況及び交差点毎の渋滞要因の調査
- ②大規模集客施設駐車場の出入交通が県道及び町道の渋滞に与える影響の調査
- ③複数の交差点を考慮した渋滞要因及び特定の交差点対策が周辺に与える影響対策の優先順位の調査・検証

# 13. 今年度の取り組み(案)

## 今年度の取り組み(案)

○昨年度から継続して、より詳細な渋滞要因の把握と対策(案)の検討を行う。

### 【詳細調査項目】

- ・商業施設駐車場の飽和状況が道路渋滞へ及ぼす影響(商業施設駐車場の方向別出入交通量調査)
- ・道路渋滞が隣接交差点や周辺道路へ及ぼす影響(面的な交通シミュレーション)



具体的な内容やスケジュールについては、WGで検討を行いたい。